

安全と環境を考えるニシオの広報誌

1994
MAY 1994

No.12

安全くん

“基本がかんじん、下水道工事”の巻



それ行け!! 安全くん

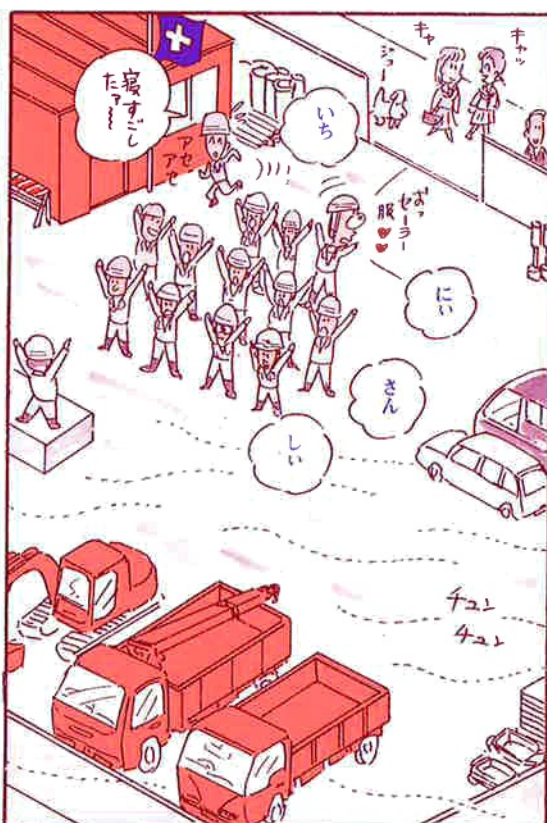
画 中村よしのぶ

連載 その12

“基本がかんじん、下水道工事”の巻



さて今回は
ハナマル工務
店が下水管埋設
工事にあたって
います



それ行け!! 安全くん



安全ミーティング



ガンさんのフシポイントレッスン

現場全体の安全のために積極的な報告を!

一時期かなり提出されたヒヤリ・ハットメモも、最近はなかなか出ないケースが多い。報告書が書きにくい。また書いても上司が嫌な顔をしたり、報告に対して音沙汰なしというのがその主因。そこで以下、①②を参考にヒヤリ・ハット運動の活性化を!

①ヒヤリ・ハットを感じたら、すぐメモに。

ヒヤリ・ハット 報告カード
相互注意

直属上司
岩田

いつ	○月 ×日(△曜) 午前○○時○○分
どこで	○○ビル
どうして いた時	鉄筋材料運搬中
事故または 危ないと思った ことのあらまし	うしろのまげ部分が手すりにひかかり、転倒、 墜落の危険があった
わたしの 意見	周囲の確認、通路の手すりを設ける
(所属)	○○課 XX掛 △△職 若井 健 (氏名)

上記を参考に、書きやすいカードを各現場で作成しよう。

②カード(報告書)をもとに、KY(危険予知)活動を。

終業時や月例のミーティングで対策を立てる。

- 進め方
- 1.現状把握、どんな危険があるか
 - 2.本質追求、危険のポイントはこれだ!
 - 3.対策樹立、あなたならどうする
 - 4.目標設定、私達チームはこうする
- さらに確認の指差呼称項目を決める



貸 FENTY します

NISHIOの
ハウス・備品



- コンテナハウス ●仮設ハウス ●仮設トイレ
- 机・イス・テーブル ●ロッカー・キャビネット
- 冷暖房機器 ●家電製品

ご用命は、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

今日の作業は
道路を掘り
かえて
新しく下水管
を布設します



貸 RENT しませす

NISHIOの 土木機械

- タイヤショベル
- バックホー
- ミニバックホー
- 各種ブレーカー
- アタッチメント
- ブルドーザ 他



ご用命は、最寄りの各営業所へお問い合わせください。



解説コーナー

車両系建機の燃料などの貯蔵方法

●届け出・資格者の選任

消防法で定められた「指定数量」(図1)以上の石油類を10日以上貯蔵し、取り扱う場合、あらかじめ市長、村長などに設置許可を受け、「危険物取扱者」の有資格者を選任すること。

類別	品名	内容	指定数量
第四類	第一石油類	原油、ガソリン、軽油等	100リットル
	第二石油類	灯油、軽油、ディーゼル油、タール中油等	500リットル
	第三石油類	重油、潤滑油、クレオソート油、タール中油等	2000リットル
	第四石油類	ギア油、シリンダ油等	3000リットル

(図1) 指定数量表

●貯蔵方法

貯蔵所の周囲に必要な保有空地を設けるとともに、必要な保安距離を確保し(図2)、「危険物貯蔵所」の標識と、類別、品名、最大数量、危険物取扱者を記載した掲示板を設置すること。

(その他) ■最大数量に応じた消火設備の設置。

■通気、換気が不十分な場合や蒸気、ガス滞留の恐れがある場合は、強制換気装置を設置。

建築物	必要な保安距離
特別高圧架空電線	3m以上 (7,000V~35,000V) 5m以上 (35,000Vを超えるもの)
同一敷地外の住居	10m以上
高圧ガスの施設	20m以上
劇場、映画館、学校、幼稚園 病院、福祉施設等	30m以上
重要文化財などの建造物	50m以上

(図2) 燃料などを貯蔵する場合の保安距離



貸RENTY
します **NISHIOの荷役車両**

- 不整地運搬車
- フォークリフト
- クレーン付トラック
- ダンプ・トラック
- 軽ダンプ
- 自走式クレーン
- 散水車
- 他

ご用命は、最寄りの各営業所へお問い合わせください。



解説コーナー 車両系建機の転落・転倒の防止

車両系建機を使用して、死亡災害を発生させた道路工事の状況例（多い順）

1. 路肩からの転落（バックホー・ローラー・タイヤショベルなど）。
2. 法面（傾斜地）からの転落（タイヤショベルなど）。
3. 建設機械と他のものに挟まれたり、押しつぶされる。
4. ひかれる（特にバック運転中）、（ブルドーザー・モーターグレーダーなど）。
5. つり荷の落下、旋回中のつり荷に挟まれる（バックホー・タイヤショベルなど）。
6. 建設機械移送時にトレーラーなどに積み込むさいの転落（バックホー・ローラーなど）。
7. 傾斜地での停車中の建設機械の逸走（タイヤローラーなど）。
8. 過重荷での転倒。

再発防止のため以下の事項の実施を

1. 運行経路の路肩の崩壊を防止すること。
2. 運行経路の地盤の不同沈下を防止すること。
3. 運行経路の幅を保持すること。
4. 路肩や傾斜地で車両系建機を用いて作業するときは、誘導者を配置し誘導させること。
5. 安定度や登板力を踏まえた作業計画を立て、運転者はこれに従い能力を超えた傾斜地での運行をしないこと。
6. 挟まれるなど接触事故の対策については、立入禁止の措置をするか、誘導者を配置して誘導させること。



解説コーナー ハンドガイドローラーの安全作業

●ローラーの種類別の災害発生状況

全体の約60%がハンドガイド式ローラー。

●ハンドガイド式ローラーの被災状況

搭乗式では運転者3に対し、周辺関連作業員7の割合で、非搭乗式では運転者7に対し、周辺関連作業員3の割合。非搭乗式のハンドガイド式ローラーでは、運転者自身が災害に合わないよう特に注意が必要。

●作業状態

転圧作業中が最も多く、全体の約74%を占めるが積みおろし中の災害、エンジンを始動するときに災害をうけることも以外と多く発生。

●原因

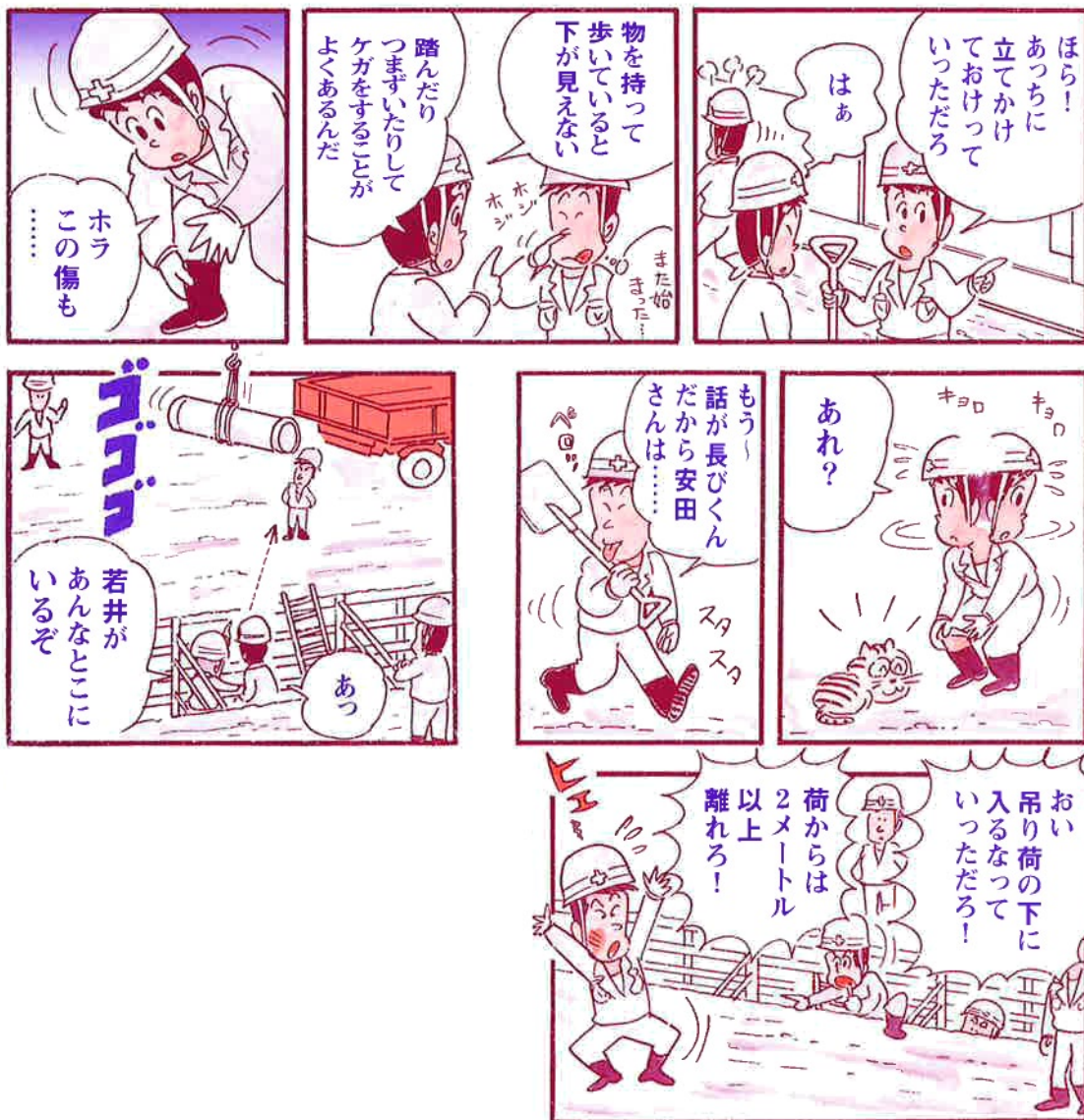
はさまれ災害（他の機器とのはさまれ災害が全体の約42%、電柱・壁・立木などが約40%）。

●転圧時の注意

1. 作業開始前の現場状況の確認（立入禁止の措置、路肩・法肩の状況、電柱・壁など障害物の位置、他の建機の作業位置、作業範囲）。
2. 急発進・急停車は事故のもと。
3. 他の作業者を近づけない、他の建設機械との接触に注意。
4. 周辺には注意するが、無用なわき見運転はダメ。
5. 後進時、あとずさりする方法はさける。
6. 路肩・傾斜地は特に注意。

- ①1回目は無振動、前進で転圧。
- ②急ハンドルは危険。
- ③前後進レバーの抜けに注意。
- ④初心者よりも熟練者で。
- ⑤下方に作業者を入れない。
- ⑥駐車場所は平坦なところで。
7. 夜間工事の際は、十分な照明を用意。





解説コーナー

ノーポイ・ノーラン・ノーポケット ～安全はまずマナーから～

●ノーポイしていますか

ゴミ分別やゴミ持ち帰りなどが徹底し、最近建設現場はきれいになったといわれていますが、相変わらず目につくのがタバコの吸殻。ある事務所で予告して拾ったり、予告なしに拾ったりを繰り返して1年間、1本の吸殻も見かけない現場になりましたが、そのとき安全も素晴らしい成績になっていたとか。現場にゴミひとつ落とさないという心がけが、安全確保にもつながるという例です。吸殻のノーポイは、プラットホームや路上など日常生活から実行しましょう。

●ノーポイ・ノーポケットはなぜ大切か

走って転ぶ危険、転んだときに顔面を打つ危険。その一方の危険に備えて、ノーラン・ノーポケットの実行を。寒いときにポケット手のまま階段を昇り降りするのは、特に危ないことです。マナーがしっかりしているか、安全ルールをきちんと守っているか、作業前に危険予知活動(KYK)をしているか。この3つは建設現場の安全の具体的なあらわれとして重視することが大切です。

※「ノーラン」について…「オレにも言わせろ」返信ハガキより。

「昔、現場の中をながめるたびに駆け足して、いつも注意された。それはどこに危険がひそんでいるか、わからなかったからで今思うとゾッとする。若い人、気を付けて!」



貸RENT
します

NISHIOの道路機械

- モーターグレーダ
- アスファルト
フィニッシャ
- タイヤローラ
- ロードローラ
- コンバインドローラ
- 振動ローラ
- ハンドガイドローラ
- プレート・ランマー
- 他



ご用命は、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

